

平成31年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 協議会名称

平成31年度 都立青梅総合高等学校 全日制学校運営連絡協議会

(2) 事務局の構成

副校長、経営企画室長、総務部員1名 計3名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、教務主任、総務主任、生活指導主任、保健部主任、進路指導主任、総合学科推進部主任、農場部主任、1年次主任、2年次主任、3年次主任の計13名

(4) 協議委員の構成

学識経験者（青梅市教育委員会）、PTA会長、地域住民、近隣中学校長、地域団体代表 計7名

2 平成31年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和元年6月6日（木）16:00～17:20 内部委員13名、協議委員6名

協議委員委嘱、委員紹介、学校経営計画、  
本校の教育活動と各分掌からの本年度の計画と生徒の活動の報告、意見交換  
・スマホを用いた学習（クラッシー）についての質疑があった。

第2回 令和元年11月22日（金）16:00～17:20 内部委員13名、協議委員7名

授業公開、各分掌から今年度の重点目標の取組状況について中間報告  
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容確認、意見交換  
・学校評価の内容について一部文面の変更を検討。  
・本校の卒業研究発表会についての質疑があった。

第3回 令和2年2月7日（金）16:00～17:20 内部委員13名、協議委員7名

各分掌から生徒の活動の報告、学校評価の報告及び学校運営に関する提言、意見交換  
・学校評価の結果について質疑応答

(2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和元年11月22日（金）15:30～16:00

内部委員2名、協議委員2名

学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討  
・学校評価アンケートの質問項目の検討を実施し、文言の修正をすることとした。

第2回 令和2年2月7日（金）15:30～16:00

内部委員2名、協議委員2名（欠席2名）

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

・本校の生活指導が保護者や地域から高く評価されているが、一方で、土曜授業や遠足、服装規定、生活指導などについて、少なくない数の意見が出ていることを確認した。

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

#### （1）評価の観点

学校への理解、学校生活への意欲、学校の対応、学校の実践等

#### （2）アンケートの実施時期、対象、規模

実施時期：12月

対象：生徒、保護者、教職員、地域住民

#### （3）主な評価項目

生徒用の評価項目を例示する。保護者、教職員も生徒の質問事項に対応している。

- ① 私は、青梅総合高校の教育目標を理解している
- ② 私は、積極的に授業を受けている
- ③ 私は、授業外でもしっかりと勉強している
- ④ 私は、部活動に積極的に取り組んでいる
- ⑤ 私は、勉強と部活動の両立ができています
- ⑥ 私は、校則やマナーを守っている
- ⑦ 私は、学校行事や委員会活動に積極的に取り組んでいる
- ⑧ 学習内容の理解を深めるために、「考えさせる授業」が行われている。
- ⑨ 授業は、子どもの興味や関心を高め、学習意欲を満足させている
- ⑩ 青梅総合高校は、系列や科目選択、卒業後の進路について相談にのってくれる
- ⑪ **【1・2 年次】**「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」の授業は進路選択や将来を考えるのに役立っている
- ⑫ **【3 年次】**総合学科の特色ある科目（卒業研究含む）や教育課程を学ぶことは、自分に合った最適の進路選択に役立った
- ⑬ 部活動やホームルーム活動は、協調性を養い、地域貢献に必要な活動である
- ⑭ 自己を高めるために必要な助言や連絡、情報は、学校から適切に伝えられている
- ⑮ 青梅総合高校では、安心して生活できる
- ⑯ 青梅総合高校は、体罰や生徒間の暴力を許さないという教育方針であることを、理解している
- ⑰ 青梅総合高校での生活に満足している

#### （4）評価結果の概要

- ・平成30年度とほぼ同じ項目で平成31年度アンケート調査を行ったが結果として大きな差は認められなかった。
- ・全般的に全保護者による評価における肯定的意見が最も多く、全教職員、全生徒と肯定的評価は質問によって異なる結果が得られた。
- ・学校生活、私は校則やマナーをも守っているという項目が各年次とも評価が高く、保護者、教職員についても同様の結果が得られた。また、地域からも生徒の登下校の様子についておおむね良い評価をいただいた。また、紙ベースでの広報活動（青総NEWSLETTERの月1回の発行）やHP・ツイッターの更新の頻度を上げた結果、生徒の活動内容についての認知度が昨年度よりも高くなった。

## (5) 評価結果の分析・考察

### 【生徒・保護者】

- ・生徒・保護者と教員の意識の差について認識し、改善していくことが重要であるとの指摘があった。
- ・自由意見については、校則と生徒の自主性の育成とのバランスの難しさが指摘された。
- ・土曜授業の実施回数や配置バランスについての不満があった。次年度の土曜授業日の配置については次年度、教務部を中心に検討していく。
- ・「授業に積極的によく取り組んでいる」と答えている生徒が多いことが分かった。また、「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間」の授業は、生徒の進路選択や将来を考えるのに大変役立っていると考えている生徒の割合が高い。
- ・授業に対して「学習意欲を大変満足させてくれる」とする肯定的な意見は、年次が進むにつれ若干だが増加傾向にあり、生徒が興味・関心・進路希望に応じて選択した授業への満足度が高い。
- ・本校のマナー教育、生活指導は肯定的に評価されている。校則やマナーを守っている生徒の割合も高い。地域からも高い評価を得ている。また服装等については、自由意見として、価格や質の面から、変更を望む声は出ている。

### 【地域】

- ・今年度は、今年の台風 19 号の際に避難所として使えなかったことに対して地域より、ご意見を複数頂いた。改めて、防災に対するこの地域の皆様の高い意識を感じるとともに、遠くからも多くの生徒が通学している本校と地域との協力体制について、互いの理解を深めていく必要性を再認識した。これについては、青梅市担当者、自治会の皆様とともに話し合う機会を持ち、誤解を解くとともに、避難所としての体育館の利用については、青梅市が避難所を運営すること。そして、青梅市の指示に従っての避難・利用となることを確認し、今後ともより良い形での、自助・共助となるよう、地域に信頼される学校づくりを目指していきたい。
- ・教育活動については、生徒の活動や身だしなみ、ボランティア参加などにお褒めの言葉をいただくとともに、生徒の部活動や地域での催し物、清掃活動などに関して肯定的評価をいただいている。
- ・広報活動については、学校の様子や情報が十分伝わっているかの項目について、学校便りやホームページ等、内容を検討しながら、広報活動を継続して行う必要があると考えている。今後も、地域の皆様からも期待されていることを生徒たちに伝え、より一層励みにさせたい

## 4 学校運営連絡協議会の成果と課題

### (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・内部及び外部から多くの意見をいただき、その結果、本校教員の意欲が伝わり、本校への期待と本校の教育活動が肯定的に捉えられていると理解できた点

### (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・地域への情報発信について工夫する。本校に関心を深め、地域の学校と感じてもらえるようにPR活動する必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

- ・総合学科高校としてのキャリア教育の充実
- ・家庭学習の習慣づくり及び授業を受ける基本姿勢の育成。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 7人

(2) 「学校がよくなった」と答えた協議委員の人数 [下段に人数を記載]

そう思う	多少 そう思う	どちらと も いえない	あまりそ う 思わない	そう 思わない	わからな い	無回答
4	3	0	0	0	1	0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

(1) 参加実績

- ・職員会議 0回 延べ0人
- ・企画調整会議 0回 延べ0人

(2) 成果

参加実績なしのため、特になし